

12月議会

2015 No.33 平成27年1月31日発行



▲下本地区の「逃げもち」 H26. 11. 22 下本公民館にて

「逃げもち」とは…下本地区に戦国時代から伝わる祭り。戦国時代の収穫祭で敵兵の急襲を受け、住民がつきたてのもちを持って逃げたのが起源という言い伝えが残っている。毎年11月22日に行われている。町の無形文化財となっている。



日本磁器誕生・有田焼創業400年
The Birth of Japanese Porcelain: Arita Ceramics 400th Anniversary

有田町では2016年に有田焼創業400年を迎えます。

文化体育館改修事業で激論

平成26年度 一般会計 2億1,271万円(一部減額修正)を補正 2p

町政 ここが知りたい 一般質問 10人が町政を問う 6p～15p

各委員会の所管事務調査 16p～19p

12月の定例議会

平成26年12月議会は12月9日から19日まで11日間の会期で開催されました。
本年度一般会計補正予算案など16議案と諮問2件報告1件が上程されました。

平成26年度 一般会計予算94億114万円に 2億1,271万円を補正

主な事業として、福祉保健センター空調設備改修工事費等に6,516万円、更生医療給付事業に310万円、山辺田遺跡発掘調査事業に630万円などを補正した。

(単位：万円)

事業名	内 容	金 額
庁舎管理事業	町有施設改修工事設計業務委託料等	286
賦課徴収事業	地籍修正調査業務委託料、町税過納還付金等	118
廃棄物運搬車両購入事業	廃棄物運搬車両等購入費	243
福祉保健センター事業	福祉保健センター空調設備改修工事費等	6,516
更生医療給付事業	更生医療給付費	310
病後児等保育事業	病後児等保育負担金	130
林業総務管理事業	支障木伐採委託費等	314
山辺田遺跡発掘調査事業	発掘調査支援業務委託料等	630

※一般会計は2億1,830万円を追加補正の予定だったが文化体育館改修工事実施設計委託料558.1万円を減額修正して可決した。詳細は文教厚生常任委員会報告を参照して下さい。

特別会計・企業会計補正

○特別会計	国民健康保険特別会計	44,918千円	(療養給付費等)
	後期高齢者医療特別会計	5,435千円	(一般会計繰出金等)
	介護保険特別会計	3,108千円	(介護認定審査会負担金、各介護給付費等)
	有田南部工業団地造成事業特別会計	208千円	(職員の給料、手当、組合負担金等)
○企業会計	公共下水道事業	1,723千円	(収益、資本勘定)
	農業集落排水事業	102千円	(職員の給料、手当、組合負担金等)
	浄化槽整備推進事業	183千円	(職員の給料、手当、組合負担金等)
	水道事業	442千円	(職員の給料、手当、組合負担金等)

平成26年度 第3回定例会における議案の審議結果

・・・文化体育館の改修工事実施設計委託料を否認・・・

議案順位	提 出 議 案	採決の結果
1～2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	賛成全員
3	専決処分 平成26年度一般会計補正予算(第6号)について	賛成全員
4	いじめ等問題行動対策委員会設置条例の制定について	賛成全員
5	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について	賛成全員
6	税条例の一部を改正する条例について	賛成全員
7	国民健康保険条例の一部を改正する条例	賛成全員
8	町営住宅条例の一部を改正する条例について	賛成全員
9	市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更に ついて	賛成全員
10	一般会計補正予算(第7号)について (補正予算の概要) 歳入・歳出の総額にそれぞれ21,830万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ940,672万円とするもの。 この内、「文化体育館改修工事実施設計委託料」558.1万円を減額する修正案が提出され、賛成多数で可決。 (修正に至った詳細は、文教厚生常任委員会並びに総務常任委員会の審議経過報告をご参照ください。)	修正案を 賛成多数 で可決
11	国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	賛成全員
12	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	賛成全員
13	介護保険特別会計補正予算(第3号)について	賛成全員
14	南部工業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)について	賛成全員
15	公共下水道事業会計補正予算(第3号)について	賛成全員
16	農業集落排水事業会計補正予算(第3号)について	賛成全員
17	浄化槽整備推進事業会計補正予算(第3号)について	賛成全員
18	水道事業会計補正予算(第3号)について	賛成全員
19	新型インフルエンザ等対策行動計画の作成について	賛成全員

※各議案は、関係委員会で予備審査をして本会議に付されます。予備審査の詳細は別掲する委員会報告をご覧ください。

文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関するものについて審議します。

（委員会構成議員 5人）

委員長 蒲原 多三

副委員長 松尾 佳昭

▼有田町いじめ問題行動対策委員会設置条例の制定

今泉委員 委員の費用弁償が設定されているが、対象者は。

学校教育課長 ボランティア的なもので、最低限の額だ。

教育長 条例可決後に、打診する。今後の協議で構成委員は考慮する。

蒲原委員長 重大事案が発生した時の委員会と聞いたが、その手前の、いじめに對する取り組みは。

教育長 いじめに對する「覚知」と「認知」による捉え方の違いで、各県・市町による差はあった。

教育長 今年度も「保護者アンケート」が実施されているのでそれによって「覚知」・「認知」に對

応したい。

（採決の結果） 賛成全員

▼有田町国民健康保険条例の一部を改正する条例

今泉委員 条例の内容は。

健康福祉課長 麻酔などの出産事故に、子どもの養育費の一部を保険に付保する医療機関に助成する。トータルの42万円の助成は変わらない。

▼平成26年度有田町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

梶原委員 水中トレーニング教室はなくなったのか。

健康福祉課長 国保から介護予防事業に移った。

（採決の結果） 賛成全員

▼平成26年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

今泉委員 75才以上の動向は。

健康福祉課長 65才以上の高齢者の内、75才を超える方は約5割である。

（採決の結果） 賛成全員

▼平成26年度有田町介護保険特別会計補正予算（第3号）

今泉委員 介護保険料の負担と、高額所得者の負担の増加、該当者の説明を。

健康福祉課長 保険料は、3月に議会に提出予定。まだ決まっていない。決まれば、早急に条例変更をする。

福島委員 介護認定審査費の補正は、毎年上がるのか。

健康福祉課長 伊万里・有田合同の介護の認定調査会の負担金である。

松尾委員 委員会でも丸亀市の介護予防事業を視察した。核家族も増えている中、コミュニティとキッズで取組んでいたが、高齢化社会、少子化社会のことを教育現場で体験することは。

教育長 健康福祉課と連携して取り組んでいる。子どもとの交流は大事だ。授業時間もあり、現場と調整する。

（採決の結果） 賛成全員

▼平成26年度有田町一般会計補正予算（第7号）

福島委員 更生医療給付とは。

今泉委員 310万円の補正は。

健康福祉課長 腎臓疾患などの障害給付で、社会保険から国保に移動で増えた。

松尾議長 健康福祉課の空

調設備費の6、500万円は、当初予算で組むべきでは。

健康福祉課長 当初、継続使用の予定であったが、9月議会で設計の予算を計上した。来年の2月にリースが切れる。継続の料金に25万円掛かり、効率性を考慮した。

◎文化体育館改修事業実施設計委託料に関する意見について

- ・改修事業に對する説明が十分になされていない。
- ・文化体育館そのものについていろいろな角度から協議すべき。
- ・築39年が経過し更に30年もたせることの説明だが、本当に30年もつかという危惧。
- ・9年後の国体に空調設備を改修せずにに對應できるのか。
- ・文化事業なども空調設備がある。
- ・資料の開示や審議がもつと必要だ。
- ・文化体育館だけ改修ではなく地区全体の審議が必要だ。



▲文化体育館

要だ。

以上の意見がだされ、文化体育館改修事業については、さらに慎重に審議すべきものとして、平成26年度有田町一般会計補正（第7号）は、歳入・歳出それぞれ558万1千円減額することとした修正案を総務常任委員会へ具申することを全員賛成で可決した。

産業建設常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 久保田 均
副委員長 古賀 四郎

▼平成26年度有田南部工業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)

金武委員 用地の買収状況、造成着工の時期。県派遣担当者の活動状況。県内の産業集積エリアの販売状況は。

まちづくり課長 買収は完了した。今年度中に登記完了の予定。派遣担当者の業務は県の業務なので有田町に特定されてはいない。他地区の販売状況は、唐津市が残っている。鳥栖市は2年後に造成を予定している。

採決の結果 賛成全員

▼平成26年度有田町公共下水道事業会計補正予算(第3号)

金武委員 4、9月の収益と費用がアンバランスだ、接続率の問題では。

上下水道課長 工事は進んでいる。接続が増えれば黒字化になる見通したが、申し込みが少ない。

金武委員 未接続家庭や地域別にはどうか。

上下水道課長 接続率の向上に努力したい。岩谷川内中の原は数戸、赤絵町、幸平は現時点では申し込みがない。

採決の結果 賛成全員

次の議案は全員賛成で可決すべきものとしました。

▼有田町営住宅条例の一部を改正する条例

▼平成26年度有田町農業集落排水事業会計補正予算(第3号)

▼平成26年度有田町浄化槽整備推進事業会計補正予算(第3号)

▼平成26年度有田町水道事業補正予算(第3号)

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

(委員会構成議員 6人)

委員長 松永 俊和
副委員長 原田 一宏

▼有田町職員の給与に関する条例及び有田町一般職の任期付き職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

池田委員 特例とは。

総務課長 任期付きが特例である。

池田委員 豊富な経験や知識を活かし、40年事業や課題に当たるため、町として再任用や任期付きの職員の採用は。

町長 再任用は年金制度等も含め必要になると思う。現在考慮している。

(採決の結果) 賛成全員

▼有田町税条例の一部を改正する条例

税務課長 本会議の質問で軽自動車税(現年)の税収見込みは、平成26年度は5、349万円ほど、平成27年度が5、600万円、増収見込みが251万円である。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成26年度一般会計補正予算(第7号)

藤委員 3年毎に行われる固定資産の評価替えが1月にある。基準になる地区の現在の固定資産の評価額は。価格差については。

税務課長 JR有田駅前交差点付近で1㎡当たり平成26年度は34、500円。平成27年度は30、700円に。旧西有田の国道202号線立部付近で1㎡当たり平成26年度は15、800円。平成27年度は14、800円。不動産鑑定士による鑑定を基準にしている。年明けに評価審査委員の会議を開いて確認する。

総務課長 評価額は実際の売買価格が違いため、地域で定められている。課税は慎重にする。

松永委員長 約5百万円だった防火水槽が、なぜ今は7百万円以上かかるのか。

財政課長 地域活性化雇用創出対策事業で国の交付金を利用する。補助事業であるため、会計検査等基準に合った諸経費率で算出している。

原田委員 有田焼アイデアソン運営委託料とは。

財政課長 有田町からの情報発信、観光、産業振興のアイデアを町民協働型で考えるイベント事業である。県と町の共同事業として協議中。2月に開催を予定している。

文教厚生常任委員会

からの具申事項

*10款 教育費「文化体育館改修事業」について
(詳細は文教厚生委員会報告を参照)

当委員会で審議した結果、文教厚生委員会の意見を尊重し、全員一致で一般会計補正予算の一部減額修正を承認した。

(採決の結果) 全員賛成



池田 栄次 議員

有田小学校の改修・移築 「改築ありき」では地域エゴ

答「核」となる学校は欠かせない

有田小の改修移築

白川保育園の併設

議員 隣接民有地を購入したが、有田小に白川保育園を併設するののか。

町長 平成19年に「公立保育所を考える会」から「公立保育所は旧町に一つ」とする答申を受け、「おおぎ」と「やまだ」に保育園を統合する。旧有田はくわこば保育園もある。調整が今後の課題だ。

有田小学校の学童減少

議員 町内の小学生は平成18年に比べ234人も減少。特に有田小は51人も減って全校で131人。学年平均22人、教室は6つだ。この現況で学校を新築し、校長以下の教職員を揃え、1億円を越すプールも造るのか。

町長 内山地区は伝統的建造物の保存地区だが、住環境には恵まれず人口流出は進んでいる。一方、町の再生には核となる学

校が欠かせない。

(決算書から抜粋 各年度5月1日現在)

区分	年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	前年	対18
生徒数		182	169	170	158	156	146	144	152	131	△21	△51
学級数		6	6	7	7	6	6	6	6	6	0	0
特別支援学		1	1	1	1	1	1	1	2	2	0	1
教職員数		21	21	23	24	19	20	20	21	21	0	0

▲有田小学校の生徒と職員数の推移

改築ありきは地域エゴ

議員 校舎の配置、構造、工費等も付議せず民有地を買い増した。「改築あり

き」は地域エゴになる。

借金も町民に跳ね返る。

教育長 校舎の配置や構造、総工事費用等ははまだ確定していない。

町長 土地は補助対象でない。特例交付金を使う。町教委は今、基本設計をプロポーザル方式で提案を求めている。

④プロポーザル方式 複数の企画者に提案を求め、その中から優れた企画を採択して設計者等を選定する方式。

町財政の見通し

各種施設の統廃合

議員 町長は「町有施設の統廃合や遊休地の利活用をする。」と表明したが、町民は大きく期待している。

まちづくり課長 施設の見直しに着手した。築歴、費用、修理履歴、運営コスト等のカルテを作り、施設の公共性、有効性、代替性、効率性の観点から評価した。現状維持、改修、廃止等、用途の見

直しを進めている。

改修計画と負担予測

議員 建設して40年、50年も経つ数多くの行政財産や普通財産がある。修繕費は莫大だ。修繕には10年、20年先を見据えた年次計画と財政予測が必要だ。

財政課長 平成27年度に「公共施設等整備計画」を策定する。この計画をもとに各種施設の維持管理、修理・改修、更新等を中長期的に見通して、財源の負担予測を図る計画である。

文化体育館の改修

議員 文化体育館の大規模改修設計委託料が提案された。町長は遊休地の利活用や施設の統廃合を提唱したが、方向性は定まっていない。それまでは赤坂や泉山体育館、学校の体育館を代替できないのか。

新築するには10数億円が必要。雨漏りする屋根や床面、便所、劣化した壁面等を改修する。使用頻度が低い冷暖房や音響施設の改修計画はない。

唐船城の築城800年祭

築城800年記念事業

議員 有田焼創業400年の2年後、2018年是有田の始祖でもある唐船城の築城800年になる。町として記念事業の企画が必要だと思う。

町長 諸説あるが1218年の築城が定説のようだ。歴史の検証と先人の偉業を記念する事業を検討したい。地域での動きと連携したい。

⑤松浦党祖「源久」の孫「栄」が有田郷を分地されて有田三郎栄を称して唐船山に砦を築き、その嫡子「究」が唐船山の急峻な地形を利用して強固な山城とした。

その他の質問と提言
・個人情報保護条例について
・唐船山南側(町有地)のもみじの保護について

副町長設置の進捗状況は

答 当時(6月議会)と変わっていない



松尾 佳昭 議員

今回の選挙を受け

議員 今まで県知事として有田焼400年を強力にリードされた方が衆議選に立候補された。出陣式には多くの市町の首長が出席されていたが欠席だった。公務のためか。

町長 そうである。

議員 いつ何時何があるか分からない時代。早く副町長を選任すべき。九月議会で年度末には副町長をおきたいと言われた。進捗状況は。

町長 当時と変わっていない。

議員 県知事も変わられる。この機会に有田が肥前窯業圏のリーダーとなつて行動するべきでは。
町長 人・まち・ものづくりに全精力を傾けていきたい。400年事業、社会資本整備、まちづくりなど確認している。行政関連は近々一同に会し協議していく。

400年事業今後の取組

議員 県との関連だが、佐賀大学、窯大の合併の協議は進んでいるのか。
町長 学長、副校長ともしっかり議論している。佐大芸術学部の有田キャンパスは2016年4月開校ですんでいる。地域の人材育成を図りたい。
議員 九州陶磁文化館、窯業技術センターを中心に人材育成など町として



▲記念堂にて開催された「全国伝統工芸祭 in SAGA」

サポートできないか。
町長 人材育成、研究開発、情報発信、芸術の伝道など見据え整備していく。行列のできる美術館をめざし多くの改善点もある。
議員 基本計画もほぼ承認された。レセプションや大博覧会などは県との協議が必要ではないか。予算を早く明示すべき。期限を決め3月議会には各項目の予算を決め動きだすべきでは。

町長 今から各事業を進めていく。世界遺産、人間国宝展など沢山提案を受けている。今から実務者の会議開催、できることを把握し進めていく。

議員 実務者の組織づくりも年明け早々に必要。1月の中旬には大丈夫か。
町長 実務者・関係者との会議を設

ける。まずは町内関係者からのヒアリング。合同会議などして進めていく。
議員 町長の答弁のような形で動いていくのか。実務的に可能か。

400年推進課長 答弁された形が骨格として実務的部分が先に来る。町内関係団体と話をしていく。事業を詰めながら予算がある。並行して組織づくりも同時にやっていく必要がある。

議員 有田焼以外の名物名産品づくりをしていくことが必要だが。
町長 この機会に地元の料飲店、生産者と手を組んでいく。農産品の育成は地域を守り、繋ぐことが大きな役目である。

情報発信

議員 第10回秋の有田陶磁器まつりは本当に多くの方に来て頂いた。沢山のイベントが開催された。行きたい所に行けなかつ



▲陶山神社にて開催され賑わう「有田マルシェ」

たり、イベント情報を見つけ出せなかったりとの声があった。情報化社会の中、400年を機会に、情報発信の専門家を雇うべきでは。
町長 大変重要である。400年事業以外の町政など、全体的な情報発信を検討中だ。町内の専門家と協議しながら町全体の情報発信法を考える。マスメディアの情報発信力も大きい。重要性は理解しているので今後も検討していく。



金武 康男 議員

歴文公園・除草範囲縮小は協定違反である

答 管理者に除草・剪定するよう指導していきたい

道路の維持管理

議員 総延長290kmある町道の維持管理の現況は。

建設課長 年間約2千万円の予算。地元要望優先で修繕・除草を行っている。

議員 除草を地元団体に委託している線を視察した。管理が良好であったが、その委託方法は。

建設課長 建設課で積算した費用で地元委託している。委託費は業者と同額であるが、年2回除草されており、経費は半分で済んでいる。

議員 南山茶園道路は十分な管理ができていない。地元団体に委託可能か。

建設課長 建設課に相談があれば、契約可能である。

議員 観光客が見る景観としては国・県・町道の区別はない。特に国道の雑草が目立つ。国・県道も町が積極的に関与して

町ぐるみ組織的に維持管理すべきである。

公園の維持管理

議員 町立公園14カ所内の6公園を視察した。ほぼ問題なく除草剪定がなされていたが、どのように管理しているか。

建設課長 公園台帳と基準単価によつて業者及び地元団体に委託している。除草は春・夏・秋の3回で、作業後は写真付きで報告を受け立会検査も行っている。

議員 竜門山の家は登山客へのサービスができていない。客を迎えるに相応しい整備と体制を整えるべきである。

建設課長 管理委託料を10万円増額して、4～9月の日曜祭日に案内人2名を常駐させた。

歴文公園の除草

議員 歴文公園の維持管理で新たな問題が発生した。公園内を走る道路の外側は殆ど除草剪定されていないが、響より除草範囲縮小の要望書が出されている。

建設課長 今年5月、本来は町が管理すべき場所との理由で提出された。

議員 響が除草範囲縮小を求めた場所は歴文公園の範囲内である。公園管理は基本協定に従って行われる必要がある、その除草範囲は前任者から引継がれている。「昨年まで除草されてきた場所を今年除いてくれ。」とは明らかに協定違反である。

建設課長 要望のあった場所は公園内で有り、響で除草する様指導する。

議員 管理者選定の際、響の事業計画は余りにも

人件費が高いので、公園の管理が十分できるはずがないと再三忠告したが執行部は聞かなかつた。響を管理者にした執行部には重大な責任がある。

教育長 響と話をして、管理者で除草・剪定するよう指導していきたい。



▲除草放置の歴文公園

400年事業

議員 10月の実行委員会では基本計画が継続審議となった理由は。

400年推進課長 各団体に持ち帰って検討してもらうこととした。

議員 2カ月費やして、やきもの博覧会が春から秋に変更になった以外で計画の変更はあつたか。

400年推進課長 計画内容の変更は殆どなかつた。

議員 12月に承認された計画は早急にその詳細を明らかにし、町民の参加を促すべきである。

今の基本計画で最も欠けているのは、海外特に韓国との関係である。中国・韓国との交流を深めるような多彩な事業が必要と思う。

県主催の九陶の事業や伝統工芸品全国大会は素晴らしい企画であつたが、町民の関心は低かつた。例えば県の事業であつても町民の関心を高めるのは町の役目である。町が積極的に関わって、町民参加を促して頂きたい。

石場採石場は改修すべき

答 調査を検討する



古賀 四郎 議員

石場採石場

議員 400年事業を控え、実行委員会に対して議会の意見を述べる場がない。

町長 ようやく全体の方角性がまとまりつつある。今後、分科会等や専門部会で議論してゆくので機会はある。

議員 12月の実行委員会で、人間国宝の中島宏先生から石場採石場を世界遺産に登録すべきとの意見があった。どうするか。

町長 考慮している。

議員 有田町400年の発展は石場から始まった。そのため、開会式イベントや駐車場として整備を進めるべきと思う。秋の陶磁器まつりで一部開放されたがどうだったか。

商工観光課長 とても評判がよく、感動された。

議員 以前から、口ケやCM撮影、イベント会場としての実績もあり是非整備をして欲しい。



▲石場採石場

町長 安全面で配慮すれば、短期利用は問題ないが継続利用は課題がある。

議員 石場は磁石場組合議会が管理し、資金も保有している。400年事業後を見据えればこの機に整備する方が効果的であり、内山地区住民の思いでもある。

町長 約19・7haの広さで崩落の危険性があり、雨天時にはぬかるむので排水設備等も考えなければならぬ。

議員 日本を代表する焼き物の産地であり史跡、

名勝、歴史の町でもある。今後、観光産業を発展させるためにも、是非とも400年事業実行委員会の議題としていただきたい。

公共工事と住民生活

議員 泉山大谷線の事前説明会は、土木事務所から何度か行われたが、工事の詳細内容や工事期間の変更などを住民に説明したのか。

建設課長 説明するように指導はしている。

議員 説明責任の所在の明確化と国、県に対する要望はどこに言えばいいのか。

建設課長 役場建設課で要望を受けたら各関係機関に連絡する。

議員 住民も公共事業に対しては協力しなければならぬと思うが、理不尽な工期延長、不必要な制限制約等、明らかな説明不足が目につく。住民に理解を得られるような

措置を講じてもらえる努力を望む。

6月議会での陳情要望は

議員 6月議会での陳情・要望は総務課に窓口を一本化され、各区長、総区長で受付とされたが、現状はどうなったのか。

総務課長 要望の件数は72件あり内未処理が10件ほどある。それも県との協議が必要な案件等であり概ね処理できていると思う。

議員 予算面では。

総務課長 例年と変わらない。

議員 以前は役所内で縦系列だったが、横の繋がりを等も出てきたのでは。

総務課長 今後この方法を継続していきたい。

消防団訓練

議員 消防団の町民の生命、財産を守る活動に敬

意を持っている。年末警戒は夜中の2時まで拘束する必要があるのか。

総務課長 以前は西地区は4時、東地区は5時までとしていたので、短くはなっている。

議員 出初式、夏季訓練等で歩行訓練が多いように思う。時間を切り詰めた方が効率的で、負担も少ないのではないかと。

総務課長 規律を重んじての鍛錬だと思う。

議員 操法訓練への参加は仕事を持っている団員に果たして必要なのか。

当番となれば約1ヶ月ビッチリと訓練しているのか。疑問に思う。

町長 有事の際、消防団の働きや日ごろの活動の賜物と理解している。

議員 あくまでボランティアとしての立場を踏まえ、団員の意見を反映させて活動にあたっていたきたい。

有田地域活性化プランコンテスト 町の対応は

答 何ができるか官民で協議したい



原田 一宏 議員

有田地域活性化
プランコンテスト

議員 総務委員会の研修で、地域活性化プランコンテストの先進地である福井県鯖江市を訪れた。鯖江市は提案されたプランを実際に具現化検討し、実現している。今回で3回目となる有田町の対応



▲第3回地域活性化プランコンテスト終了後

テーマ

- 第1回（2012年）
「ワカモノにとって魅力ある街 有田」
第2回（2013年）
「有田の新規サポーターを1616人生み出す」
第3回（2014年）
「有田の玄関口がもっとワクワクする場所になる」

▲有田地域活性化プランコンテストのプランテーマ

は。

まちづくり課長 過去2回のプランコンテスト開催は、町づくりの機運を盛り上げることに重点が置かれていたが、今回は、実現する方向性を見出すために何ができるか、関係課と実行委員会とで協議するようにしている。

議員 町長の考えは。

400年事業

町長 行政が先にやるのは難しいが、いろんな提言を町民が必要と思えば、整理しながら進めたい。

議員 プラン実現の方向でぜひ進めてほしい。

議員 先日400年事業の基本計画が承認されたが、祝祭事業の内、誘致開催事業（後援事業）と連携事業について説明を。400年推進課長 誘致開催事業は具体的には今からだが、マスコミなど外部からの誘致事業を支援していく。連携事業は、県や他市町と時期的に一緒にやる事業について、コラボしてやるものと考えている。

議員 町民からの事業案はこれに当てはまるのか。400年推進課長 いろいろな意見があるが、枠組みが決まったので、既存イベントや主催事業に盛り込んでいけるか考えてい

る。

議員 有田焼マイスター制度の創設は後継者問題とも密接に係わってくる。先ごろ窯業関係業種の方と意見交換会が開催されたようだが、どういう意見が出たのか。

商工観光課長 どの業種も収益が上がらず、仕事も少なく、厳しい現状とのことだった。特に型屋・生地屋・陶土屋の三業種は後継者不足が前提にあるようだ。これからは儲かる仕組みづくりや各々知恵を出し合おうという意見が出た。

議員 町営の施設が必要だと思うが。

町長 施設整備が先ではないが、いろんな業種の意見を聞いて支援していきたい。

議員 400年事業は多くの業種において、起爆剤と考えられている。直売組合が解散した今、小売業者の意見を出す場もない。協議会等を開いて、意見集約ができないか。

自主防災

町長 「販売無くして栄えたことはない」と言われるので、販売の問題点等を議論して、今何ができるか、何をするか意見いただければと思う。

議員 町内の自主防災組織の組織率と防災訓練の実施地区は。

総務課長 自主防災組織はあと数力所できていない。防災訓練実施地区は8地区である。

議員 住宅用火災警報器の設置状況と消火器の設置状況は。

総務課長 火災警報器の設置状況は82・4%（消防署発表）で消火器は把握していない。

議員 防災意識の向上と

いつ点で行っていることは。
総務課長 広報の活用（5月号・8月号・12月号に掲載）で町民に周知・案内をしている。

農産物特産品づくりの進捗は

答 試験栽培を開始する



立部 正則 議員

農業振興6次産業化

議員 町長は農産物の特産品づくりを進められている。昨日の答弁で「子持ち高菜」をテスト栽培しているとあったが、これを選定した理由は。

農林課長 第1回の会議で、「四季ありた」に出荷されている方が、昨年栽培され、首都圏の友人に送られ好評だったとのこと、それに基づき5件の農家の方に栽培を委託している。

議員 現在の栽培の進捗状況は。

農林課長 収穫が2月から3月ということで生育途中にある。

議員 子持ち高菜の販売は、青物のみの販売か。漬物等の加工も検討しているか。

農林課長 収穫時は、試食会を開催し、その中で漬物も検討したいと思う。
議員 そのほかに、どのような品目を検討したか。



▲子持ち高菜の生育状況

か。

農林課長 2回目なので今から有田の気候風土にあつた野菜果樹を栽培し、結果をみて、どう加工するか販売するかを検討する。その中で高齢者が栽培するものか、集落営農組織が中心となるかが見えてくると思う。

議員 販売ルートも検討するということがあるが、メンバーの中に販売ルートに詳しい方もいるのか。

農林課長 販売がネットワークになると思うが、青果市場の担当者、販売実績のある会社代表にもメンバーとして参加頂いている。そのような方の知恵もおりし、販売も検討しながら栽培品目を検討していきたい。

議員 先に言われた品目の中に金柑があつたが、今栽培されているのは、施設栽培である。施設の設定については、費用が

高額になるが補助金はあるのか。

農林課長 施設については数千万円かかるので、国、県の補助金がある。町単独では、がんばる事業者応援事業等の補助金もある。また耕作放棄地の復元についても国庫補助事業がある。しかし、すべての農林事業には受益者負担金と採択条件がある。

農産物特産品開発

議員 40年事業で農産物の特産品づくりを推進し、その食材を活用したご当地自慢の料理も推進する

とあるが、何か検討するのか。

40年事業課長 計画に地元食材を使った料理を有田焼の器で提供するとうたわれている。

議員 地元食材を使うのであれば早目の栽培依頼が必要と考えるが。

町長 JA伊万里もい

んな品目を開発し、有田の方も部会長として頑張っている。特産地には質と量が求められる。目標をしっかりと持って儲かる農業を育てる。

先進地では知恵を集中して大きな成果が出ている。自然風土にあつた利益の出る農業を育てたい。加工品は、コンテストを行うとか、料飲店組合と協力してお客様に出せるものが開発できれば考える。

議員 「四季ありた」の開発が進んでいない。

農林課長 JAの計画ができた時点で予算化する。現在、新築で検討されている。

議員 有田には、直売所が「四季ありた」しかない。町もJAと話し合い、計画を進めて頂きたい。

町長 加工施設については、「Jajaの森」の移転が始まりだ。事情がありJAと協議中である。町として何ができるか検討したい。



松永 俊和 議員

総合的な有田駅前再開発の考えを

答 まず賑わいを作りだす

歴史と文化の森公園整備

議員 以前から伐採は、

公園管理の一還で行われていた。下本から公園へ登る町道沿いの歩道が草で滑りそうなので、一緒に除草しようと呼び掛けだが、町からの対応が無いと相談を受けた。公園管理委託の範囲で対応できるのか。

生涯学習課長 公園管理の一還で行うように指導する。

議員 歴史公園で催事や公演などが催されるときは噴水を稼働させてほしい。先日のごどもクラブマラソン大会や全国伝産工芸品大会では、噴水が稼働していなかった。生涯学習課長 遠隔操作基盤が壊れている。

議員 噴水脇の重い蓋を開け、直接起動すれば噴水は稼働できると答弁を受けていた。噴水の側にスイッチを設置できないか。

町長 今回初めて聞いた。稼働ができれば配線の修理で済む。対処する。

*議会最終日に町長から「噴水の件を検討したが修理費用が2900万円ほど必要と判った。噴水稼働よりも噴水の管理費用・噴水の在り方など見直しが要ると判断した。」と答弁があった。

有田駅前再開発は

議員 有田駅前空き店舗対策の進捗状況は。

商工観光課長 本町で6月と10月に会合を持った。このままではいけない、対策が必要との意見があった。いま空き店舗借用物件を検討中であり、今年度中に店舗改修を終えたい。県と町主催で女性のための起業家向けセミナーを1月15・19・22日・2月5日と4回にわたり、定員20人で、婦人の家で開く予定。町内

外多くの起業家を公募する。

議員 有田駅前には多くの町の施設や町有地がある。生涯学習センターの2棟（築38年）・大有田焼会館・文化体育館（築39年）や本町保育園跡地、また個人所有地ではあるが有田観光ホテルやスーパーマルタ力跡地など。

これらの施設や跡地を含め20年、50年後を見据え、総合的な駅前再開発構想を考えて欲しい。

また、県は九州陶磁文化館を40年事業以降の「有田の未来を担う九陶に」と機能や在り方を探るための検討を行っている。県とも連携しては。

町長 駅前には再開発というよりも賑わいを作り出すことが重要であり、有田の玄関口でもある。建屋、土地など総合的な検討をしてきた。

役場の業務を38年経過した生涯学習センターに移す検討をしたが、情報システムの移設費用だけ

で1億円掛かる。後に行政棟へ移転すると、2度に渡る膨大な費用がネックになってくる。民有地については商業地として計画がある。駅前については皆さんと考えて行く。

議員 文化体育館を改修するのに3億数千円掛かると聞いたが、築39年経過した建屋を改修し手を入れ、コンクリートが20年持つか心配だ。それよりも中部小学校建設予定地だった処に体育館とランドゴルフ場や駐車場を備え、これから50年使える事を考えては。



▲遊休地の活用は

合併市町振興基金とは

議員 新庁舎建設検討委員会

員会で、合併特例債の活用と期限が平成32年までと話が出た。他の市町で基金として合併債を活用しているのと同じ基金と他市町の活用状況は。

まちづくり課長 建設検討ではなく新庁舎建設審議会である。基金は合併特例債と同じ扱いである。

現在、県内で有田町と三養基町だけが基金の積み立てを行っている。特例債の活用は平成32年度までだが、合併振興基金として積み立てると、基金を償還した額の範囲内であれば、合併特例債と同様の扱いとなる。基金の積み立てをしている自治体は、運用益をソフト事業に活用している。振興基金で積み立てた場合、特例債の期限が過ぎても取り崩して事業に活用できるのが利点だ。

400年事業のスケジュール・取り組みは

答 町民の参加参画を頂いて日程規模内容を詰めて行く



手塚 英樹 議員

400年事業の進捗状況

議員 12月5日の実行委員会決定した「ありた文化の大博覧会」は一過性のものではない継続的な事業か。

町長 400年事業は450年500年に繋がる意義あるものにしてほしい。

記念式典

議員 式典は2016年10月22日となっているが規模はどの位か。

400年推進課長 規模はまだ決まってない。

議員 式典参加予定の要人の方は忙しい。早急に詰めて案内ができるよう進めてほしい。

400年推進課長 日程は決定したが要人の都合では日程の変更もある。

有田の魅力展

議員 国内主要都市で行われる魅力展の概要は。

400年推進課長 2015年秋から日本橋三越・2016年2月梅田阪急・3月福岡三越。その後の

地域は協議中である。

ありた文化の大博覧会

議員 内容はこれから詰めるこの事だが博覧会の期間は。

400年推進課長 決定はないが記念式典後11月の「食と農のまつり」の間位を考えている。期間はまだ決まってない。

議員 400年事業で有田に人を呼べる事業はこの大博覧会だけである。開催期間は2・3日ではなく長期の開催を望む。

有田サロオーネ

議員 9月議会で町長は国内外からバイヤーを呼んで行う有田サロオーネを開催するとあったが。

400年推進課長 どのような組み込み方になるかは決まっていなかった。

関連事業・プレイベント

議員 400年の関連事業として既存の事業に400年の冠を付けて2015年陶器市から、各事業を拡充しプレイベントにするかある。取りまとめは、400年推進課・商工観光課・

観光協会のどこか。

400年推進課長 商工会議所・観光協会を取りまとめて実行委員会と協議するように考えている。

議員 プレイベント事業は住民も商店会にとっても400年を実感できる事業である。実行委員会からの支援もお願いする。



▲12/5 実行委員会で承認された400年事業基本計画

議員 県400年事業の市場開拓チーム・人材育成チームの2チームの方々が有田に家を借りて事務所兼宿泊所として取り組んでいる。また伝統的建造物に店舗出店も計画されている。有田町の400年事業はこれからだ。スケジュール感を持った取り組み

みは。

町長 400年を意義あるものにするため、町民に参加参画して頂いて、日程規模内容等を詰めて行く。

施政方針の進捗状況

福祉の向上

議員 高齢者の皆さんが生きがいを持って長生きできる町にしたい。年2回ぐらいの健康診断を受診して健康管理を行うところがあるが。

健康福祉課長 健康診断は4月の健康診断行事力レンドーに基づいて行っている。有田町では癌・認知症・透析が増加している。生活習慣病の予防として、健康診断後の生活指導に力を入れている。

議員 健康診断後の指導は重要。引き続き継続を。

教育環境の整備

議員 教育の基本は「読み」「書き」「そろばん」子供たちの夢を育む教育とあるが、教育環境の整

備状況はどうなっているか。

学校教育課長 今年度新規事業として中学校でユニバーサルデザイン推進事業・有田小学校改築・ICT授業は計画をもつて取り組んでいく。

議員 子供の夢を育む教育は学力の保障が大切である。「読み」「書き」「そろばん」など基本の徹底も行っている。

行政改革

議員 税金を有効に還元し、皆さんと一緒に考えるところがあるが。

まちづくり課長 有田町経営改善方針で「公民と住民との協働を推進する」のコンセプトのもと、選択と集中の徹底と自主財源の確保・役場の変革・町有財産の適正管理活用・事業実施主体の最適化を5つの重点事業としている。その中で施設カルテの作成・検証と評価を行い機構組織、住民主体の組織はどうあるべきか検討中である。



蒲原 多三男 議員

緊急時の「事業継続計画(BCP)」は

答 地域防災計画と共に、必要だ

事業継続計画(BCP)

議員 今年は、災害の年と言ってもよいくらいに全国各地で大きな被害がもたらされた。テロや大規模災害・事故などが発生した場合に主要な業務を継続させ、早期の復旧を目的として今、全国の自治体でも取り入れているBCPについての認識は。

総務課長 BCPは、初めて聞いた。地震などの災害があれば、業務・事業に支障のないようにしなければならぬ。地域防災計画と共に計画をたてねばならないと思う。

議員 自治体におけるBCPでは災害対策活動の円滑な実施と、行政サービスの早期回復などが求められる。東日本大震災後にある自治体では、役所自体の被災、庁舎や職員が被災したとの想定で、優先すべき業務や各課の連携など、事前に行政機能の維持を図るために非常

時の業務選定を行っている。町の対応は。

総務課長 初動と業務の優先順位を決めることは大事だ。日常業務の復旧のためにも、計画を立てる事は必要だ。

議員 東日本大震災では、地震が発生してから30分後に対策本部を立ちあげ、1時間半後にBCPを発動し、2時間後には従業員の安否や、顧客の情報を4社内で共有し迅速な対応ができた会社もあった。有田の地元だからこそできる対応もあるので、町内の企業にもBCP啓蒙を。

町長 BCPの大切さにて、事業の継続・経営と、社員をまもる。また地域経済のためにも災害に対して行政の支援できることはしたい。

耐震への取り組み

議員 住宅の耐震補強は、経済的な負担が大きい。そこで、耐震シエルトー

と呼ばれる、睡眠スペースや茶の間の一部を、地震などの倒壊からまもる補強を行い、高齢者のみの世帯での助成を要望する。

議員 有田町でも過去に大きな災害があった。そこから学んだ事を今後の防災対策に、どのように活かしていくか。

総務課長 昭和23年と昭和42年の大水害では、人



命も失われ、住宅被害も大きなものがあつた。その事で有田川の幅員の整備がされた。

議員 ハザードマップの活用は。

総務課長 見直す必要があると思う。

防災教育

議員 岩手県釜石市では独自の防災教育で、市内の小中学生のほぼ全員が大きな津波から無事に避難でき、全国から注目を集めた。それは、「①想定にとらわれない②状況下において最善を尽くす③率先避難者になる」この3

点だったが、町の取り組みについてはどうか。

教育長 各学校において、防災訓練と防犯を含めて行っている。有田中学校では、今年度・実践的防災教育の指定を受け取り組んでいる。

発達障害児の取り組み

議員 発達障害児への受け入れ、相談の支援は。

健康福祉課長 1才半・3才半検診などを通じて早期発見につとめている。更に県の機関とも連携をとりながら保護者の方の意見を伺って、一人ひとりに適した対応をとっている。

認知症への対応

議員 高齢化への対応と今後の予測は。

健康福祉課長 増加すると思う、対処していく施策に取り組む。

見えにくい路面標示や歩行白線の改良を

答 現地を観て早急に取り組みたい



今泉 藤一郎 議員

権利取得の緩和を

議員 耕作放棄地が問題で、農地の権利取得面積は、町の農業委員会で協議・決定ができるように。例えば5aでも取得ができるように要件の緩和ができないか。また、特に畑の貸付などの推進を町、農業委員会としてできないか。

農林課長 基本は50aだが、県内では三瀬と脊振が30aに設定されている。農地の遊休地化が深刻な状況で、農業委員会では、下限面積の必要性を年1回協議し決定する。農地の賃貸借契約では、正式に農業委員会に申請してもらいたい。

危険と見なす空家対策

議員 町内で、危険と見なす状況にある住宅の件数は。

総務課長 総務課で把握

している危険な空家と見なす件数は29件、内4件が解体されている。また、町から通知・連絡をした件数が8件で、連絡先等が不明な件数が17件あり、今後、増えてくると思う。

議員 佐世保市では国の補助制度の適応を受け、危険と見なす住宅の解体、除去費用として上限60万円の補助事業の実施をされている。

平成24年 12棟
平成25年 27棟
平成26年 22棟
現在、約100件の待機がある。

町として、この制度活用を考えはないか。
町長 県内の市町でも助成をする傾向にあり、町でも制度を作りたい。

議員 新法に基づき、空家を解体し更地にした後の課税の軽減など見直し検討ができないか。

税務課長 11月に特別措置法が成立し、今後指針が策定され、その中で財政、税政面でも具体的に

示される。

総務課長 空家再生等推進法が6月以後に確定する。課税台帳等を活用できるようにになる。町として相手に撤去や修繕等を命じることができる権限も与えられるようになってくる。

転入・持ち家奨励金は

議員 転入奨励金並びに持ち家奨励金制度の、これまでの成果と検証は。

まちづくり課長 平成21～26年11月末までの交付件数は転入66件、持ち家152件、合計218件・825人が居住、内232人が町外からの転入者で一定の効果を果たしたと考える。

新年度予算の編成にあたっては、充分考慮して検討する。

町長 総合的に定住環境を整えて行くことの重要性も踏まえ、継続すると思うが早急に検討する。

見直せ道路の白線

議員 歩行者に対しての安全確保で通学路の現状を観てどのように把握・認識したか。

学校教育課長 特に曲川小・西中、大山小・立部、広瀬・西中までの町道等を確認した。道路の舗装の状況等もあるが、外側線（歩行白線）が殆ど消えかかっている部分と、全く見えない所が延長で約3kmあった。



▲殆ど消えかかっている外側線

議員 町内の国・県・町道を問わず、路面標示や外側線の総点検を実施して改良をせよ。

町長 通学路安全推進会議の中で現地視察等々をして、早急に改良したい。

歩行者に対して町内全域での安全対策を図って行きたい。



▲消えかかっている一旦停止線と路面標示

古窯跡の整備を

議員 広瀬向窯を初めとする茂右衛門・香茸・小森谷窯跡の整備と活用について該当地区住民に計画、予定の説明を願う。

文化財課長 広瀬向窯は17世紀から250年にわたり、6基以上の窯場跡が確認された。しかし、当初目指していた国の指定は受けられず、町内66カ所の窯跡とのバランスを考えながら町単独での整備を考えていきたい。今後、地区住民へ説明の機会を設けたい。

総務常任委員会の 所管事務調査報告

平成26年11月5日～7日、

福井県鯖江市の地域活性化プランコンテスト、めがね産業、オープンデータなど行政の取り組み方と成果、京都市と兵庫県出石（いずし）町の町屋民泊の取り組みとまちおこしについて。

1日目

鯖江市の地域活性化プランコンテストは、今年7回目を迎えている。1回目から「市長をやってみませんか」をキャッチフレーズに、これまでにない若者たちの感性を受け入れている。

有田との大きな違いは、提案された全プランのアイデアを「いかに市政に活かせるか」と、具現化を検討することにある。また、検討結果も学生たちに報告しているそつだ。ゆえに学生や市民との間に一体感が生まれ、現段階で鯖江は学生たちにとって「プランコンテストの聖地」と認識さ

れている。

プランの実現のため町をあげて動く姿勢が学生たちのモチベーション向上につながり、更により良いプランづくりに好循環を生んでいる。また、学生や市民、行政も組織化して支援、その成果が企業にも波及している。鯖江全体の柔軟な対応が好成果を生みだす原動力になっているようだ。昨年から新たな展開として大人版プランコンテストが開催され、今年4月から市内に通う女子高生で構成された「JK課」が無報酬で新設された。JK課はイベント企画やめがねフレームなどの商品化やアブリの開発などを手掛け、男子学生や子ども達、高齢者など市民へも波及し孫や高齢者との交流ができています。

鯖江市のめがね産業は、国内市場の9割を占め、100年余りの歴史ある産業だ。しかし、安価な中国製品に押され、「ワンプライスショップ」

の台頭などで軒並み減収減益の斜陽になっていた。しかし、産業の特性や優位性を活かしたの100年へ継承したいとの思いが、新たなブランドの確立に向け「SABANE MEGANE JAPAN」を立ち上げることとなった。めがねを介し「鯖江の風土・気質・歴史・文化・生活」が伝わり「作り手と売り手と使い手」がさらに絆で繋がり、満足できる産地ブランド確立の実現を目指している。



▲鯖江市商工政策課 青山課長から説明をうける

鯖江のめがね産業は有田町の産業と形態や流通など酷似

している。有田も次の100年を目指し「有田ブランド」の確立を実現しなければいけないと考える。有田焼産業の再生にも同じことが言えるのではないだろうか。

2日目

オープンデータの取り組みは、現在27都道府県58市町が取り入れている。

（株）ジグジエイビー福野氏の説明を受け、地方とTとの関係を解説してもらった。

- ・行政と民間との多様なつながりができる。
- ・若者の関心を呼ぶ事ができる。

- （地元と外部とのつながり）
- ・集中できる環境である。
- （地元でも作業ができる）

など全国的にも地方とTの間にメリットが見出され、今若者の活躍が期待されるとのこと。

鯖江市でもオープンデータを活用し、観光案内・防災関連・トイレ案内・公共施設の案内・店舗案内・バス時刻表案内・イベント案内など様々な活用をしている。

有田では初期投資が150万円程度かかるが、現在公開しているホームページを活用して始めると難しくないのでと助言を受けた。



▲(株)jig-jp 福野氏よりオープンデータの説明

京都町屋の町屋民泊について、（株）庵・梶浦代表から説明を受けた。長屋風の町屋を所有者から定期借地契約で借り上げ、長屋を2棟に分けて改装費に各2000万円掛けて整備したそつで、土地柄であるが、外国人の家族での利用が多いとのこと。風呂はヒノキ風呂で、トイレは上下の階に整備されていた。

さすがに京都の古民家が再

生まれ、古きものの美しさはそのまに（町屋の特徴の中心も整備）、水回りやリンネなどは快適に過ごせるように工夫を凝らしていた。

以前、梶浦さんが関東地区のグループの方々に有田内山の施設で民泊を企画され、好評を博したとのこと。有田の町屋民泊の可能性は大きく、都会の富裕層をターゲットに



▲京都 町屋

有田のファンを増やし、「有田の風土・文化・歴史・食・器」などで売り出す事ができる。町長や町民の本気度の問題である。」と力説された。

3日目

豊岡市出石町の町屋民泊については前日の京都の町屋と比較できない（客層、客単価、立地条件、整備度など）が、担当者は大変厳しく苦慮している状況だ。

まちおこしについて、出石町まちづくり公社の酒井さんと支所長の福野さんに話を聞いた。

平成10年に出石町まちづくり公社は観光協会から独立した。観光協会が広報と情報を主に行い、第3セクター出石町づくり公社が収益部門を主に分離設立した。（資金は市2000万円・観光協会500万円・商工会300万円・市民7000万円を募り独立）平成17年の町村合併を機に大手前駐車場を取得して収益を伸ばしてきた。土産物店や駐車場の収益で公社の人員費、経費などを賄う事ができてい

る。平成7・8年は観光客が年間百万人を超えたが、以降は少しずつ減少していた。

現在、観光客が62万人から83万人と徐々に回復している。年間を通し主に京阪地区からのお客で賑わい、昼食時は駐車場も満車状態。



▲まちづくり公社での研修

この地区の強みは城下町の風情を残し、500メートル四方に歌舞伎座・寺院・土産物店・食事処・駐車場などが集中している事だ。

特に蕎麦屋は50店舗程あるが、平成10年以降は廃業者がいない。

お客様が満足するには食事とトイレと休憩所の整備が不可欠と力説された。

研修所感として有田も鯖江のめがね産業も安価な中国製に押されているが、打開策で新たなブランド力と市場を目指す、お客様の満足できる



▲城下町 出石町の町並み

「産地ブランドの確立」を實現に向け努力する姿勢は有田業界も同様だ。地域活性プランコンテストの活用には、町長や行政の柔軟な対応とプラン実現化に向けた取り組み、町民の応援、学生や町民への経過報告を行い、相互信頼関係の構築などが必須だ。

オープンデータを有田で採用できれば観光協会の委託事業負担の軽減ができ、費用面でも行政の負担軽減もできると思う。

町屋民泊と町づくりについては、有田の「風土・歴史・文化」を感じてもらえるためには、伝建地区での民泊整備や食事処の充実を急がなくてはならない。

改めて行政と民間の連携と真剣な取り組みがいかに大切であるかを痛感した。

産業建設常任委員会の 所管事務調査報告

平成26年11月11日から13日、
韓国金海市と有田との焼物文
化の関連について研修。

1日目

“有田焼の母” 百婆仙の里
といわれる韓国金海市にある、
仁済大学の学内における有
田焼400年の歴史の宣伝啓蒙と、
有田に関する認知度の調査及
び金海市周辺における、400年



▲車仁濱総長(右から5人目)他教授達

前の歴史的な背景の研修。百
婆仙の功績は有田では周知の
事実だが、韓国での認知度は
果たしてどのようなものか。
仁済大学は医学部をはじめと
し生徒数約1万2千人の総合
大学で、韓国屈指の私学であ
る。本館13階の総長室で車仁
濱(チャインジョン) 総長を
はじめ多くの教授達を表敬訪
問して懇談を交わした。有田



▲サムルノリを披露する学生たち

と金海市の交流を紹介したが、
総長以下改めて認識を新たに
された。

400年前、朝鮮から来た百婆
仙一行が異国の有田で生きる
中での苦労を慰めるものは何
だったのか。記録では、高麗
踊りの許可を時の佐賀藩に懇
願したが認められず、有田で
は途絶えたといわれる。その
高麗踊りを彷彿とさせるサム
ルノリという民俗舞踊がある。
その民俗舞踊を学生が披露し
てくれた。400年前、有田の韓
人陶工達は、観音山で故郷を
思んだといわれるが、このよ
うな音曲が山に響くことがあ
ったのだろうかと思いをはせ
る。

演奏が終わって、歴史民俗
資料館尾崎館長の講演会を開
始する。演題『有田焼400年、
百婆仙、李参平ら先人への報
恩感謝』で、朝鮮半島との関
わりや李参平、百婆仙など有
田焼創業に関わった人々、女
性も支えた有田焼の歴史や先
祖を祀る高麗踊りが有田で絶
えて無くなったことなどに関
しての話であった。聴講生百
人余りは女性が多かった。



▲講演をする尾崎歴史民俗資料館館長

学生の質問では、有田磁石
場の陶石の成分、金海市付近
で取れる陶石の成分の紹介、
李参平と深海家の歴史上の表
われ方の違い、日本に着いて
からの足跡と有田との出会い
などに質問があった。

終了後アンケート調査を実
施した。半数近い生徒が回答
をくれたが、講演を聞いて、
偉大な女性陶工がいたことを
初めて知った、有田に行きた
い、400年祭に行ってみたく
い、答えた生徒がほとんどだ
った。中には百婆仙のことを、論文
に書きたいという学生もいて、
海外、特に韓国からの観光客
の誘致には、歴史的な観点か
らの宣伝をすることが肝要か
と感じられた。

2日目

鍋島直茂軍が築城したとい
われる竹島城址を視察した。

この城の築城は文禄の役の
時代である。この城跡にはか
つて鍋島直茂軍の指揮下にあ
った竜造寺一族など約一万の
軍勢がつめていた。その中に、
唐船城主竜造寺信明の部隊も
いたといわれる。有田周辺か
らの兵もこの城に居住したの
であろう。墓地が点在するこ
の茫々とした城跡の高台から



▲鍋島軍の居城跡周りに平野が広がる

文教厚生常任委員会の 所管事務調査報告

周囲を見渡すと、広く平野が開けており、食料の調達にはいい場所であったと容易に推察できる。地元陶芸家・有田焼創業期を描いた小説「神の器」の著者・申翰均（シンジョンジョ）氏の工房を訪ねた。韓国側からみた朝鮮陶工の解説が興味深かった。



▲申翰均氏の工房

3日目

朝鮮通信使記念館・通度寺・金井山城・龍宮寺など視察。

●研修所感

有田の礎を築いた深海宋伝や百婆仙の出身地の歴史的背景に、我々の思い、韓国側の思いが錯綜し、韓国と有田の歴史に理解を深め、400年を迎えたい思いに駆られた。

平成26年11月11日から13日にかけて、四国・新居浜市の発達障がい児支援事業と神山町のNPO法人グリーンバレー、丸亀市の介護予防事業について視察した。

1日目

新居浜市の発達障がい児支援事業は、「個を尊び、地域



▲新居浜市発達支援課より説明を受ける

とともに育ち、学び、働き、暮らす仕組みづくり」を基本コンセプトに掲げている。家族を含め地域のネットワークを活かし、支援の取り組みをしており、市長・教育長の強い思いが反映されていると感じた。今後は肢体不自由児を対象にした分校もつくる予定とのことであった。

2日目

神山町のNPO法人グリーンバレーは、2010年10月に古民家を借り受けてサテライトオフィス「神山ラボ」を設立し、地域における暮らしと、仕事を全国にアピールしている。さらには11社が企業進出を希望する企業・個人・団体

等が多く、地元で選別するくらいの状況であった。



▲古民家を改修して作られたサテライトオフィス

3日目

次に訪れた丸亀市の介護予防事業は、地域との連携を大事にしていることを感じた。介護予防の事業は、それぞれの地域にある団体等を指定管理者に指定していた。それによつて地域の方々が介護予防事業を自分たちのこととして捉え、責任をもち、元気になっているとのこと。どこの地域でも共通の課題でもあるが、少子高齢化の中で、地元の状況を踏まえた取組みが必要であると感じた。



▲丸亀市高齢者支援課より説明を受ける

今回の所管事務調査で、発達障がい児の支援では有田町でも取り組むべきと思う。支援センターと、学校、町が一体となつていことが大事だ。介護予防については他人事ではなく、自分たちのこととしていく考えを有田町にも広めていくべきと感じた。

神山町のNPO法人グリーンバレーを視察し、私たちが持つ地元の「宝」を自分たちで発見・見つけ直すことを改めて学んだ。

消防出初式に寄せて

町議会議長 松尾文則

新年明けましておめでとうございます。
有田町消防団員の皆様におかれましては年末警戒から本日の消防出初

式出勤と大変ご苦労さまです。
近年消防団員の減少が問題とされ

てありますが、本町では団員の皆様並びにご家族様のご理解とご協力により、山口団長を中心としてこのように立派な組織を形成していただき、町民の安全・安心のために活動頂いている事に感謝を申し上げます。



▲消防出初め式 H27.1.11

近年は竜巻やゲリラ豪雨等による自然災害がたびたび発生し、団員の皆様には消火活動はもちろんですが、災害防止や救助活動など多様な活躍が期待されています。日ごろの訓練等大変だと察しますが、町民の安全のために今年も宜しく願い申し上げます。

■ 議長交際費支出状況 (平成26年10月～12月)

項目	件数	支出額(円)	備考
会費		26,000	東京有田会他2件
弔慰金	2	32,084	有田町戦没者追悼式供花代他1件
雑費	3	27,420	行政視察研修等他2件
その他	5	34,560	佐賀広告センター祝賀広告掲載他4件
合計		120,064	

議会傍聴について

本会議を傍聴することができます。
ご希望の方は議会事務局へお問い合わせ下さい。

☎46-2117

(行政視察受入報告)
十一月十一日
埼玉県神川町議会
・地域資源を活かした活性化策「食」と「器」でまちづくり・ひとづくり
・総合経済対策会議の取り組み
以上について研修された。

議会議事運営委員会新人事 (12/9付)

浦川議会議事運営委員長の辞任(一身上の都合)により議運委の新人事が互選により決定した。

新議運委員長 今泉 藤一郎
新副議運委員長 池田 榮次
委員 松永 俊和
蒲原 多三男
久保田 均
古賀 四郎

(産建委員会推薦・新任)

あ と が き

新年おめでとうございます。年末から新年にかけ行われた選挙で、あわただしい正月でした。知事も決まり、やっと落ち着きを取り戻し、今年こそ平安で未来に希望の灯をともし一年になつてほしい。そんな願いが湧いてきます。気が早い三が日の新聞に印象に残った記事があつたのを思い出して読み返した。哲学者・内山節氏の記事で『戦後70年私たちは人間の価値をなくしてきた。非正規雇用はただの物品購入に過ぎず使い捨て労働では人間関係は生まれない。人口減少と地方消滅の危機が迫る中で、旧態システムの経済成長で解決する道を進んでいる。』と。私たちは昨年の暮れからこの道しかない一本道を選んで歩みだした。行きかう人々の笑顔溢れる道であつてほしい。本年もよろしく申し上げます。久保田

議会広報編集委員

委員長 松尾 佳昭
副委員長 原田 一宏
委員 立部 正則
委員 手塚 英樹
委員 福島 日人
委員 久保田 均